

学年	中学1年	教科	数学科	科目	数学	単位数	5
教科書名		新しい数学1 (東京書籍) 新しい数学2 (東京書籍)		副教材名	新中学問題集 数学1年 (教開出版) 新中学問題集 数学2年 (教開出版) 新・数学の基礎練習 (正進社)		
コース・クラス		中高一貫					

I. 目標

数量や図形などに関する基本的な概念や原理・法則についての理解を深める。また、数学的な表現や処理の仕方を習得し、数学の楽しさや数学のよさを実感する。

II. 授業のねらい

新しい数学1

- 1章 正負の数 … 負の数を理解させ、数の概念を広げる。負の数を含めた和、差、積、商の計算法を習得させる。
- 2章 文字と式 … さまざまな事らを文字式で表し、文字を用いることの意義を理解させる。一般的に把握する見方や考え方を育て、形式的な処理を施して新たな関係を見出そうとする態度を育てる。
- 3章 方程式 … 方程式を等式の性質を利用して、正確に解くことを意識させる。その後、移行という見方に発展させることにより、方程式が一定の手順で解けることの良さを感じさせる。
- 4章 比例と反比例 … 数量間の関係（比例、反比例）を式や表を用いさせ、そのグラフの特徴を学ばせる。また日常生活での具体的な事象に触れ、関数的な見方や考え方を実感させる。
- 5章 平面図形 … 基本的な図形の作図方法を理解させ、平面図形の基礎的な概念性質についての理解を深め、それを活用して考え、判断する態度を育てる。
- 6章 空間図形 … さまざまな立体の名称、直線や平面の位置関係を理解させ、その立体の表面積や体積を求めることができるようにする。目的に応じて、空間図形の一部を平面に表して考えさせる。
- 7章 データの分析と活用 … 代表値を求め、収集した情報から傾向を正しく読み取らせる。

新しい数学2

- 1章 式の計算 … 文字を用いた式を活用させ、文字を用いた四則計算ができるようにさせる。
- 2章 連立方程式 … 2つの未知数の値を求めるには2つの条件、すなわち2元1次方程式を連立させることが必要であることを理解させる
- 3章 1次関数 … 具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して1次関数について理解させる。

III. 授業の進め方

1. 教科書を中心に，授業を展開する。
2. 定期的に小テスト実施し，定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて，問題集等の副教材を使用する。
4. 数学検定を受験させるため，過去問を取り組ませる。また，基礎力を図るものとしても使用する。
5. 年に2回計算コンテストを行う。
6. 学力推移調査の振り返りと過去問解説（基礎）を行う。

IV. 学習上の留意点

1. 教科書，授業用ノート，問題集，問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後，間違えた問題を確認し，復習を必ず行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

既習事項から出題する。また，既習事項を組み合わせるような応用問題も出題する。

- | | | |
|------------|---|------------------------------|
| 1 学期 中間試験 | : | 正負の数，文字と式 |
| 1 学期 期末試験 | : | 方程式，比例と反比例，1 学期中間試験までの内容 |
| 2 学期 中間試験 | : | 平面図形，空間図形，1 学期までの内容 |
| 2 学期 期末試験 | : | データの分析と活用，式と計算，2 学期中間試験までの内容 |
| 3 学期 学年末試験 | : | 連立方程式，1 次関数，2 学期までの内容 |

VI. 評価の方法

定期試験，計算コンテスト，小テスト，提出物の提出状況と内容，授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	【新しい数学1】 1章 正負の数 1節 正負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法 4節 正負の数の利用	提出物 小テスト 計算コンテスト 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・負の数の概念を理解する。 ・正負の数が混じった四則演算$+$$-$$\times$$\div$を正確に計算できる。 ・規則性に着目し、文字を使ってさまざまな数量や数量の関係を一般的に表したり、計算法則を簡潔に表すことができる。 ・式の値を求めるために、代入することができる。 ・等式の性質を利用し、手際良く方程式を解くことができる。 ・簡単な1元1次方程式を解くことができる。 ・身のまわりの事象から対応関係を見つけ、式や表、グラフを使って対応関係を表し、これらから問題解決をする。 ・比例と反比例の式の形、グラフの特徴を理解する。
	5	2章 文字と式 1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 3節 文字式の利用		
	6	3章 方程式 1節 方程式とその解き方 2節 1次方程式の利用		
	7	4章 比例と反比例 1節 関数と比例・反比例 2節 比例の性質と調べ方 3節 反比例の性質と調べ方 4節 比例と反比例の利用		
二学期	9	5章 平面図形 1節 図形の移動 2節 基本の作図 3節 おうぎ形	提出物 小テスト 計算コンテスト 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形に関する用語を学び、記号を用いて図形の性質を表現する。 ・三角定規、コンパスを用いて、基本図形の作図ができる。 ・さまざまな立体の名称を学び、立体の表面積、体積を計算することができる。 ・データより、度数分布表を作成し、データの代表値を求めることで、資料の様子を把握する。 ・起こりやすさの傾向を読み取って判断することができる。 ・単項式・多項式、次数の意味を理解し、同類項を1つの項にまとめることができる。 ・単項式、多項式の加減、の乗除の計算ができる。
	10	6章 空間図形 1節 いろいろな立体 2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の体積と表面積		
	11	7章 データの分析と活用 1節 データの整理と分析 2節 データの活用 3節 ことからの起こりやすさ		
	12	【新しい数学2】 1章 式の計算 1節 式の計算 2節 文字式の利用		
三学期	1	2章 連立方程式 1節 連立方程式とその解き方 2節 連立方程式の利用	提出物 小テスト 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を消去する方法には、加減法や代入法があることを理解し、それらの方法で連立方程式を解くことができる。 ・1次関数を理解しグラフを書くことができる。
	2	3章 1次関数 1節 1次関数 2節 1次関数の性質と調べ方 3節 2元1次方程式と1次関数 4節 1次関数の利用		
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。